

議会だより さんのへ

第190号（令和3年9月議会号）

P2	議会アンケート結果概要報告
P4	決算特別委員会
P6	一般質問（4議員）
P10	議決結果一覧
P11	議案審議・臨時会報告
P12	議員活動レポート
P14	12月議会予定・編集後記

10月9日、三戸中学校生徒とPTA役員、学年委員長らによる窓ふき奉仕作業が行われ、一週間後の三戸小中フェスティバルに向け校舎の窓ガラスをピカピカにふき上げました。



～地域住民の「いま」を知るため～ 議会アンケート調査結果の概要を報告します

住民との対話の機会として実施する「議員と町民の交流会」が、新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度から実施できておりません。そこで、対話のための新たな試みとして、令和3年8月に議会主催のアンケート調査を実施しましたので、その主な内容と、回答の一部について報告します。

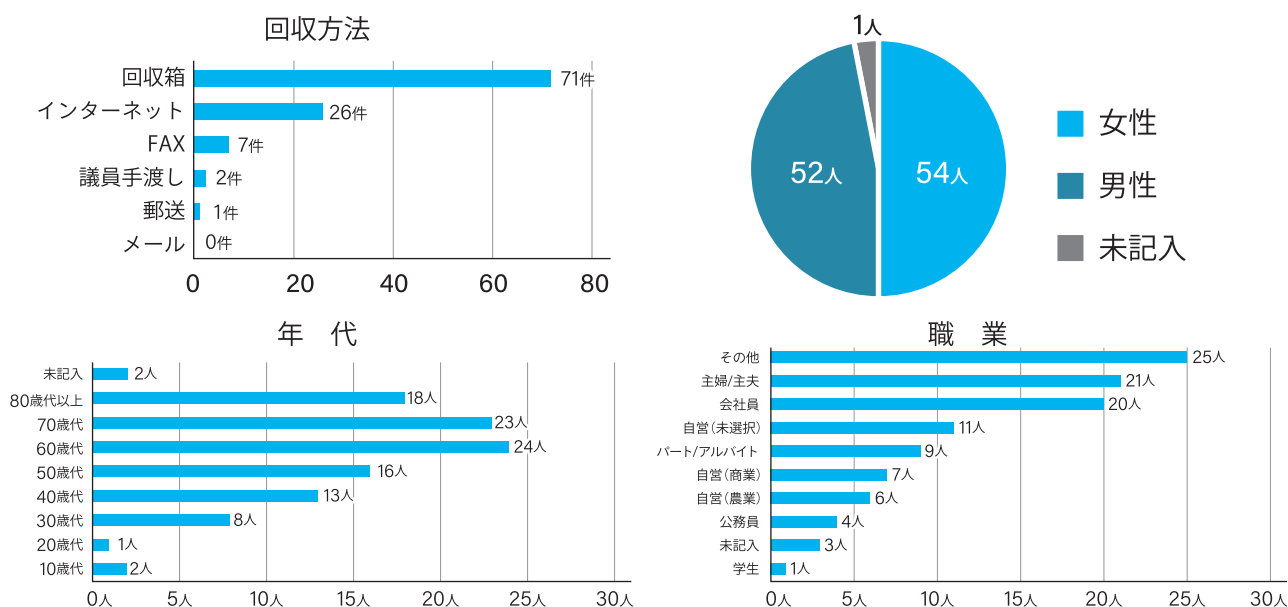
私たち議員は、皆さまのご意見を真摯に受け止め、より良い三戸町となるための議会活動を行ってまいります。町民の代表者として、町政へ意見、要望、要求等を行い、皆さまへ議員の活動や、議会改革についても「見える化」してまいります。

皆さまからのご意見は基本的に手を加えていないため、わかりづらい部分もあると思います。また、個人情報の観点から一部修正を行っている部分もございますのでご了承ください。

ご意見等の詳細に関しては、アンケート回収箱を設置した10施設で閲覧いただけるほか、議会ホームページに12月5日まで掲載しますのでご覧ください。

ご不明な点等は、三戸町議会事務局（0179-20-1151）へお問い合わせください。

★回答結果について：アンケートは全部で107件いただきました。



Q1. 新型コロナウイルス感染症に係る町の対策・支援策は活用しましたか？

【活用した】

商品券を利用して買い物や食事ができた。高齢者優先でワクチン接種ができバスを利用することができた。

【あまり活用しなかった】

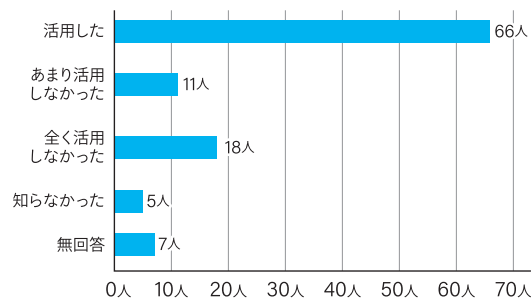
支援に該当しなかった、また支援内容がわからなかった。

【全く活用しなかった】

対象外との判断をされた。また必要なかった。

【対策・支援策への主なご意見】

- ・風評被害対策や売上減少確認実績からの対策ではなく、事前対策が必要。
- ・売上が、前年の30%以上でなければ対象外に不満。
- ・寝たきり老人のワクチン接種時の移動が大変であった。
- ・独居老人の予約等の支援をしてほしい。



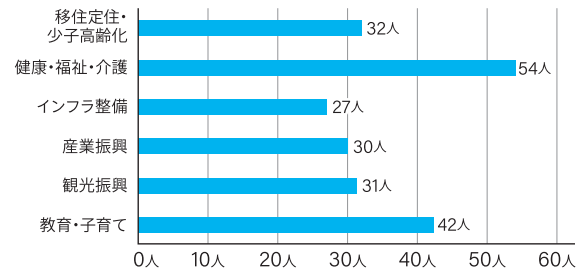
Q2. 新型コロナに関わらず、普段の生活でお困りのことはありますか？

- ・公園のインフラ整備をしてほしい。
- ・冬季間 4 号バイパスの歩道橋は高齢者には大変危険、橋下の横断歩道を復旧してほしい。
- ・三戸中央病院の対応に不満がある。
- ・お年寄りの不安や困難（ゴミ回収場所への距離、買い物、独居、町の休憩場所）の対策。

Q3. まちづくりのため、議会に特に力を入れてほしいことはなんですか？

【その他の意見】

- ・一年中住みやすい長く住みたい清潔で美しい三戸町にしたい。
- ・子育て、インフラも大切だと思います。でも介護・福祉も同じ位大切だと思います。
- ・教育は重要であり、小中学生の自立心を育ててほしい。高校をなくさないでほしい。
- ・働く場、収入増ありきで、定住も、子育ても進んで行くと思います。
- ・議会質問のレベルが低く、その対策の為、役場職員が無駄仕事をしている。まちづくりのために力を入れるためには、もっと議員がしっかりするべき。
- ・11 ぴきのねこ関連に力を入れるのであれば、もっとしっかり行ってほしい。
- ・20～30 代の子育て世代、保護者層に目を向けてほしい。
- ・城山の国史跡に伴い、小中学校で南部の歴史等をわかりやすく勉強できる教科。
- ・空き家問題。川のごみ。



Q4. 議会や議員の活動に関してのご意見やご要望を自由にお書きください。

【主なご意見】

- ・議員定数の見直しと、報酬額変更。女性議員の増。
- ・議会改革を唱えて当選したはずだが、議員としての仕事や、活動内容、町の活性化の為に勉強や成果が見えない。説明会で公約の達成度を公表してほしい。積極的姿勢が感じられない。
- ・議会では同じ人ばかり質問している。また、まとまりのない話をするなど、質が低い議員が多い。お互い刺激し合えるような議会を望む。
- ・議員派閥での流れはやめてほしい。
- ・議員の選挙のあり方で、地域により偏りがある。衆議院のように区割りすればよいのでは。
- ・老人のいこいの場「センターの風呂」を残してほしい。車のない人、バスを利用する人のことも考えて。
- ・議会傍聴に行きたいが勇気がない。きっかけが欲しい。
- ・町民の家政夫(婦)という意識を持ち、困り事を見つけて対話できる議員であって欲しい。議員であるという意識が感じられない。あいさつしても返すこともできない。
- ・情報公開が進んだと思います。ひとりでも多くの議員には登壇し、一般質問していただきたい。



農家支援要望書を手渡す久慈建設農林委員長



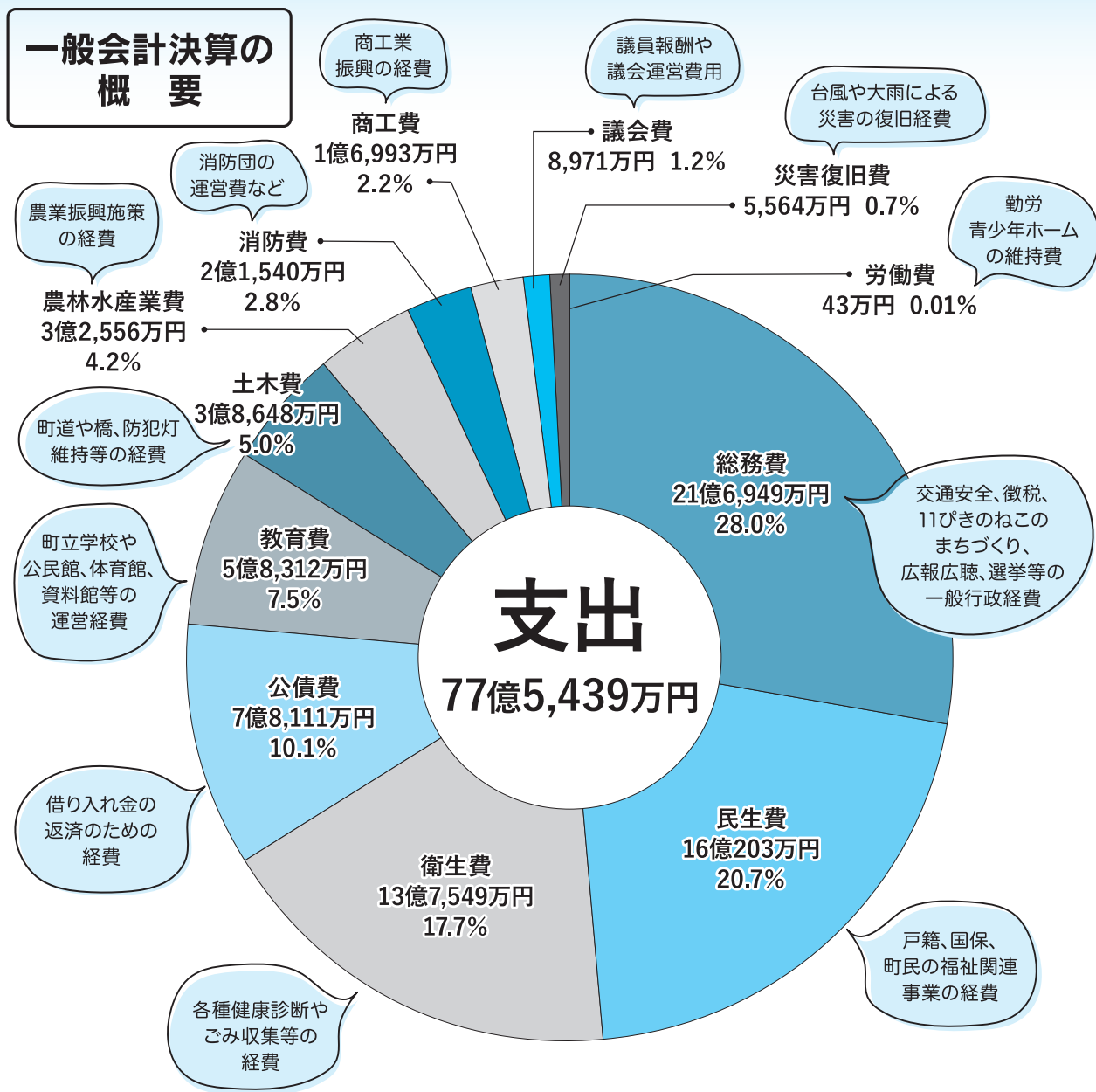
コロナ対策要望書を手渡す藤原委員長

皆さんから寄せられた声と、議員が議会活動の中で感じていることのうち、新型コロナウイルス感染症対策について議員で話し合い、要望書としてまとめ、10月13日、藤原議会運営委員長が松尾町長に手渡しました。また、米の概算金下落に伴う、町内農家の支援についての要望も同日行いました。

議会運営委員会から

～令和2年度決算を認定しました～

町のお金はどう使われたのか？



歳入80億3,694万円－歳出77億5,439万円＝2億8,255万円の黒字

特別会計決算額				
会計名		歳入	歳出	差引
学校給食共同調理場		3,782万円	3,754万円	28万円
簡易水道事業		4,735万円	4,520万円	215万円
下水道事業		2億1,286万円	2億836万円	448万円
後期高齢者医療		1億4,308万円	1億4,167万円	141万円
介護保険		17億9,928万円	17億3,524万円	6,404万円
国民健康保険		12億9,926万円	12億7,551万円	2,375万円
三戸中央病院事業	収益的収支	17億5,586万円	17億8,687万円	▲3,101万円
	資本的収支	3億7,651万円	3億7,864万円	▲213万円

令和2年度 決算特別委員会

私たちはココを

チェックしました。



主な質疑

一般会計

不動産・物品売却収入の中身は？

Q 藤原文雄 委員

不動産売却収入と物品売却収入は、こういった理由で、どのような手順で売り払われたものか。

A まちづくり推進課長

立木売却収入158万9千円は、令和元年度と2年度の城山公園支障木伐採事業により発生した木の精算額で、委託先である三八地方森林組合に木の売却額から伐採手数料を引いて清算し、収入となったもの。

A 健康推進課長

平成13年購入の通所型介護予防事業、いきいき教室で利用者の送迎をしていたリフトバスが、走行距離20万キロを超え、劣化や腐食がみられることから6社に見積り依頼し、最高額の35万円で売却したもの。

次亜塩素酸水生成器は使われているか？

Q 山田将之 委員

次亜塩素酸水生成器は町民も使用できるわけだが、どの程度使用されており、また現在も活用されているか。保育園や学校に設置した方がよいのではないか。

A 総務課長

今年度は4月から半年間で、30件程度、利用者の多くは団体で、役場も含め机

やテーブルなどの消毒に活用している。広く皆さんに使っていただくためにも、現在設置しているところでお知らせをしながら活用したい。

使われなかった

移住定住促進事業費補助金は？

Q 佐々木和志 委員

移住定住促進事業費予算に対し決算額が400万円少ないが、使われなかった要因は。

A まちづくり推進課長

新築に対する助成の限度額を250万円に引き上げたが、限度額に至る申請がなかったことや、リフォームに關しても当初の想定よりも申請が少なかったことによる。

緊急通報装置の町民負担額は？

Q 柳聖圭太 委員

緊急通報装置設置後、装置の維持管理費用にかかる町と町民の負担額の割合は。

A 健康推進課長

緊急通報装置は設置後月に1,000円の会費が発生するが、この費用を町が負担しており、設置に伴う町民の負担はない。

老人センター浴槽水質検査の中身は？

Q 和田誠 委員

老人センターの浴槽の水質検査は年に何回どのような検査をしているのか。

A 住民福祉課長

年に1回、レジオネラ菌に關する検査を実施している。

プレミアム付き

商品券の周知に

苦情はなかったか？

Q 竹原義人 委員

プレミアム付き商品券の発売後に案内が届き、買えなかった人がいると聞くが、商工会の周知期間等に苦情はなかったか。

A まちづくり推進課長

周知期間が遅くなり、買えなかったという苦情は届いている。そのため今回は予約販売に切り替えた。

アプリで100縁勝店街の周知ができないか？

Q 小笠原君男 委員

11ぴきのねこのまちアプリで商店も紹介しているのので、100縁勝店街をアプリでも紹介して商店街の応援できないか。

A まちづくり推進課長

アプリにトピックスの項目もあるので、アプリを見た人にわかるように、町の商店の取り組みは取り入れていく。

学校でのタブレット活用状況は？

Q 栗谷川柳子 委員

タブレット導入後の実績や自慢できる活用事例はあるか。

A 教育委員会事務局長

小学校低学年はやや低いですが、中学生は100%使用している。町独自の取り組みとして、フィリピンとのオンライン交流があげられる。部活動でも動画撮影を指導に役立てている。



久慈 聡 議員



Q1 コロナ感染者への三戸町の対応について

これからの三戸町の安全安心を担うべき町長に対して、以下の4点について質問いたします。

- ① 三戸地方保健所は7町村を管轄しているが、三戸町民の感染者情報は、どこまで把握できているのか。
- ② 家族感染、自宅待機から、回復、回復後までの感染者への生活のケア、管理、監視について。
- ③ 独居世帯、独居老人の場合の②の対応について。
- ④ 感染者発生地域の方々の、不安回避と支援について。

A 松尾町長

① 県では7月から、市町村の月ごとの感染者数を公表して

いるが、個人情報是非公表であり、町も報道発表の内容しか把握できない。

- ② 中等症以上の陽性者は原則入院。軽症・無症状であれば保健所が用意する宿泊施設か自宅での療養となり、自宅療養中は保健所が体温計や酸素飽和度測定器を貸与して健康状態の確認をし、食事や飲み物も提供される。町でも自宅療養者が増えた際の、本人や家族の不安が解消できるよう支援策を検討している。
- ③ 手厚い支援が必要な人々であり、関係機関と連携して対策を図る。
- ④ 不確かな情報は不安を増大させ、本人や家族への差別や偏見、誹謗中傷等の影響を与えるため、正確な情報の把握と管理、正しい知識の普及啓発に努め、町民へ冷静な対応をお願いする。

まとめ

コロナ感染者は本人が非難されたり、家族に不安を与えたりと孤独であるからこそ、三戸町でコロナにかかっても安心して暮らせる対策をしていただきたい。

Q2 三戸警察署完成に向けての町の対応について

新警察署完成に向けた道路整備等の計画について、3点質問します。

- ① 関根1号線の計画の詳細と、進行状況、完了予定について。
- ② 地域の住民への説明や報告について。
- ③ 以前から危険性を指摘している旧八日町町内会館前の横断歩道対策について。

A 松尾町長

- ① 長さ375mのうち、285mが工事完了、90mが未完了区間である。早期完了のため、未完了区間の用地交渉を粘り強く進める。
- ② 平成18年1月に地域住民へ説明会を開催し、計画内容を説明している。
- ③ 2基のカーブミラーを設置し安全確保しているが、今年度は県道へ出る際の減速を促す対応を予定中。蒸発減少に關しては県や警察と協議を進める。

まとめ

関根1号線の計画は16年前か

らだが、安全対策はすぐに対策すべきものである。道路拡幅で危険性が高まるため、速やかな安全対策をお願いしたい。

Q3 三戸中央病院の今後について

令和2年度三戸中央病院会計は、一般会計から約7億円の繰り出しを行う中、7億8千万円の一時借入れも行い、厳しい運営状況となっていることから、以下の4点質問します。

- ① 当初予算での赤字予算の改善方法。
- ② 現在の病院改革プランに対する現在の改革状況について。
- ③ 次期病院改革プランの立案状況について。
- ④ 新しい病院院長の示す方向性について。

A 松尾町長

- ① 決算段階で、平成30年、令和2年度は赤字であったが、平成29年度、令和元年度は黒字であった。今年度は7月までの医業収益が見込みを上回っており、赤字額の圧縮が見込まれる。
- ② 経常収支比率の目標達成度

は平成28年度が106.3%。29年度が102.8%と目標達成しているが、平成30年から令和2年度は100%を切っている。

医業収支比率は平成28年が達成度105%、29年度が102.3%と目標達成しているが、平成30年度から令和2年度は100%を切っている。

本計画では平成30年度に病床数を削減し、令和元年度に老人保健施設等への転換を前提としているため、その間の達成度が低くなっている。

③ 今年度は前年度の実績を上回る目標設定をし、医業経費のさらなる削減に取り組みながら、新プランの策定作業を進める。

④ 院長の「地域の病院として地域存続のために、住民に安心と安全を提供しなければならない。そのため、病院だけでなく住民とも手を取り合って進めなければならない」という考えに強く共感している。病院職員と住民が一体となつて地域のための病院事業を今後も展開したい。



千葉 有子 議員



Q1 放課後児童対策事業について

子どもを取り巻く環境が変わり、健全に育つには、学校・家庭・地域だけでなく、放課後の時間の育み、過ごし方も成長期の子どもに重要と考えることから、放課後の居場所についての課題・問題、今後の対応・対策について質問します。

①子育て支援は、教育と福祉が表裏一体だが、福祉行政の施策を教育行政へとなると、数々のハードルがある。当町で学童保育を教育委員会が所管することについての認識と見解は。

②学校現場では、児童・生徒の多様性に向き合う環境整備、人員配置等を工夫しているが、学童保育の場においても、専門的知識を有する人員の配

置は、他の職員の安心にも繋がると思いますが、意向はなにか。

③放課後児童の居場所での職員・支援員の配置について、今後も人材の確保が課題となつてくると思うが、職員の適正配置や支援員育成、補助員の活用などについて、どのように考えているか。

④中央児童館の利用児童数の増加に伴い、早い段階で改修等の対応をしているが、人数の多さからの問題・課題もあると考えます。他市町村では分割運営も増えてきているが、当町の見解は。

⑤保護者からの要望等の情報を共有し、対応できる仕組みづくりはあるか。

A 松尾町長

① 現段階で所管替えは予定していないが、国が子ども関連施策を一括する子ども庁を創設する方針を示しているため、動向を注視し、関係機関と連携して一体的に進めていく。

② 子どもの特性や個性、発達段階に応じた支援は、学童保育でも重要であり、町ではほつとステーションにおいて、保健師による子育て巡回相談

を実施し、施設職員へ助言したり、保護者からの相談を受け、関係機関につないだりしている。

専門職の配置も考慮すべき事項だがこの巡回の継続と職員研修の機会も確保し、質の向上に努めたい。

③ 学童保育の適切な実施にあたって、可能な限り保育士や教員免許等の基礎資格を有する方を中心に配置している。また、放課後児童支援員の研修にも派遣し、スキルアップに努めている。

④ 中央児童館では、高学年の受け入れのため、施設の一部改修を行い、児童室を増設した。

支援の単位を分割することで、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな対応を心掛けながら、当面は現在の場所で行う。

⑤ 学童保育を実施している中央児童館、斗川児童館では、投書箱を設置するとともに、父母の会に職員も参加し、直接要望等を受けている。

保護者からの相談も随時受けており、その内容は職員間で共有し、住民福祉課とも協議しながら対応している。

再質問①

放課後の居場所すべてに保健師が訪問しているのかそのサイクルは。また、子どもの発達に応じた配慮に関する知識を得るため、町独自で研修等は行っているか。

A 住民福祉課長

保健師が町内の保育園、幼稚園、児童館、ほつとステーションの計6か所を、年間延べ33回訪問し、75件の相談を受けている。研修については、県主催のものに職員を派遣している。

再質問②

老人センターでは児童クラブのほかに子ども教室も運営している。児童クラブの児童数の増加により、教室の募集人数の制限などで、希望児童を受け入れられない現実もあるため、学校の空き教室の利用はできないか。

A 教育委員会事務局長

クラス数の減少により普通教室でなくなった部屋は、クラスを分けて行う習熟度別の学習や、特別な支援が必要な児童生徒のためのクールダウンなどのため

に使用しており、空き教室がないため利用は難しい。

再質問③

放課後の居場所の案内や募集時期がそれぞれで、全体像を知らない保護者もいるため、すべての保護者がわかりやすい周知や募集法の検討をしていただきたい。また、周知について、他から転入してきた家庭にもぜひ伝えてほしいがどうか。

A 住民福祉課長

昨年から、放課後子どもプラン運営委員会が主体となり、一枚にまとめたチラシを作成して周知している。今年度もそれを見直しながら周知する。

転入者への案内は、転入手続き時に窓口で配布可能であり、実施していく。





山田 将之 議員



Q1 新型コロナウイルスワクチン未接種者の対応について

16歳以上を対象に行われた集団接種が8月6日に終わったが、16歳から39歳の接種率が、40歳以上の接種率に比べ10%以上低い結果となった。

未接種者の「ワクチン接種反対」や「任意だから」等の意見の一方、「接種券が届いたが忘れていた」「忙しくて行けない」といった声も聞かれるため、以下について伺います。

①未接種者への個別勧奨などの対策が必要と考えるが、町の見解は。

②町の集団接種は9月末で終了となるが、その後の希望者への対応は。

A 松尾町長

①②9月末での接種率は85%

を見込んでいる。三戸中央病院での接種は9月で終わるが、新たな接種対象者やこれまで受けていなかった方が受ける機会を確保するため、国や県の方針を踏まえ近隣市町村と連携し、医療機関と調整を進める。接種方法は決まり次第、町HPや新型コロナウイルスワクチンから版でお知らせする。その際、接種率の低い若い世代に伝わるよう効果的な周知を行う。

再質問①

接種を希望しない人を含めて15%が未接種者になるが、予約から漏れた人はいなかったのか。

A 健康推進課長

三病での接種は当初456人を想定していたが、想定以上の予約で、540人まで増やした。それでも予約できなかったという相談が30件あり、その方からは連絡先を聞き、今後の接種開始の際にお知らせすることに対応した。

再質問②

三病での接種定員の見込みは適当であったか。

A 健康推進課長

三病での接種は、対象が拡大された12歳以上の小中学生向けで、余った分を一般の未接種者に接種する方針のもと、限られた医療資源・体制の中で通常診療に影響のない範囲で見込んだものである。

再質問③

若い世代に効果的な周知法で具体的な考えはあるか。

A 健康推進課長

これまでの周知法に加え、未接種者へは個別に通知を行いたい。

Q2 町民要望への対応について

町には町道舗装や維持修繕、側溝整備など、多くの要望が寄せられるが、これに対する進行状況が分かりづらいといった声がある。進行状況を要望者のほか、町ホームページや広報紙などで公表すべきと考え、以下について伺います。

①町民要望に対する町の現在の対応は。

②進行状況の情報公開に対する町の考えは。

A 松尾町長

①②町に寄せられる要望は、文書、口頭、電話や手紙、窓口、会議、陳情・請願、回答不要なものときまぎらで、さらに町道舗装など町民生活に繋がるものだけでなく、特定の団体、個人に関するものもあり、一律にネットで公表することはできないと考える。

しかしながら、町政の見える化の観点では、町民に説明を尽くすことが原点であり、分かりづらいという点には鋭意努力していく。

再質問①

他自治体では、住民の声をデータベース化し、全職員が閲覧できる体制を整え、成果を上げていく例もあるが、これをどう考えるか。

A 松尾町長

自分で考え自分で行動できる職員の養成に関して、人材マネジメント塾により、他自治体職員との情報共有で新たな取り組みや資質向上を図っている。情報の見える化についてもこの

メンバーとも一緒に取り組んでいく。

再質問②

わかりづらい点は今に始まったものではないと思うが、これまでにこれについて対策、改善などは行ったか。

A 総務課長

これまでの情報共有は紙ベースであったことから、うまく引き継がれないデメリットもあった。今般、議会へのお知らせを共通のフォームで行ったように、今後全課で共有できるものはデータベース化していく。

再質問③

施策・事業になれば要望者はわかるが、そうでない場合、気になっているが声を上げない人もいる。情報公開は有益と思うがどうか。

A 総務課長

ホームページへの要望はその後に対応まで公開しており、それに付け加えればという話だと思うが、公開のタイミングも一律にはいかないため、慎重に対応したい。



栗谷川柳子 議員



Q1 公共施設の熱中症
予防環境について

ここ数年、当町でも熱中症の危険指数が高い猛暑日が多く、熱中症警戒アラートが発表された日もあったが、夏場に、住民が安心して公共施設を利用できる環境整備がされているか。また今後の計画はあるか伺います。

- ① 体育館、公民館、ジョイワーク、アップルドームなど、多くの住民が利用する施設の熱中症予防環境は万全か。
- ② 災害時の避難所施設の熱中症予防環境は万全か。
- ③ 住民の熱中症予防を目的に、冷房を完備している公共施設の利用を促す考えはあるか。

A 松尾町長

- ① 公民館は1階ホール、2階

和室および会議室。ジョイワークはホール。アップルドームは1階調理室と2階研修室などに設置している。体育館やアップルドームのアリーナといった大規模空間はエアコンがないので、夏場は窓や扉を開放し、扇風機を利用するなどしている。

一般的な熱中症予防には水分・塩分補給、健康管理、服装、エアコン・扇風機の利用等さまざまな対応が必要となるため、町施設の利用にはそれら注意喚起をし、安心して利用できる施設管理に努める。

- ② これまで多くはアップルドームを避難所として開設し、保健師が避難者の健康状態を確認し状況に応じエアコンのある部屋へ移動するなど対応している。

アリーナへの避難の場合は、サーキュレーターや扇風機を配置するなど、コロナの換気対策に合わせて熱中症対策を行っている。

避難所の運営にあたり、避難者の安全確保を第一に、水分・塩分補給、職員の声かけなど行いながら、熱中症が危惧される場合はエアコンが整備された施設の利用など適切

な運営に努める。

- ③ 町ではいきいき教室や寿教室などを利用する高齢者に熱中症予防リーフレットを配布し、注意喚起している。また、現在エアコンがあるふくじゅそうや図書館、役場1階ロビーを開放して利用いただいている。今後もこれら施設の利用をお知らせする。

再質問①

熱中症アラートが発表された場合の、体育館やアップルドームアリーナの、運動での利用にルールはあるか。

A 教育委員会事務局長

町の公共施設の使用ルールはない。環境省が警戒アラートを発出したら、屋外、エアコンのない屋内の運動は原則中止や延期としており、現在は利用者がそれを判断している。

再質問②

利用者の判断に任せてしまうとトラブルが発生する場合がある。施設利用の申込書類に熱中症アラートが発表された場合は利用できないことがあるなど注意書きをし、それを含めて承諾していただくルールづくりをす

る考えはないか。

A 教育委員会事務局長

現在は利用中止の呼びかけを行っているが、利用者の状況を見ながら利用中止の注意喚起も行っていく。申込書に関しては検討する。

再質問③

夏場にエアコンがない施設で、町主催の行事・催事が開催された日に熱中症アラートが発表された場合のガイドライン等整備する考えはないか。

A 総務課長

町の施設、町の行事、一般町民、来客者、百歳体操などなど、町が主催するもの、そうでないもの、エアコンがある場所でもやるもの、ない場所でもやるものさまざまなため、環境省の指標の施設への揭示や、利用者側の服装、水分・塩分補給の啓発をしていく。利用中止の判断等は複数の課が関係するので協議したい。

再質問④

熱中症対策に公共施設を開放しているとのことだが、知らない人も多いと思われるため、来

年は6月や7月の早い段階で周知してほしいが、周知方法について考えはあるか。

A 総務課長

一般的な広報や回覧板での周知のほか、町内放送も利用してもよいのではと考える。

再質問⑤

若い赤ちゃん連れのお母さんなどに伝わるようSNSも使うべきと思うがどうか。

A 総務課長

ご意見を参考に考えていく。



議 決 結 果 一 覧

議案番号	件 名	議決月日	議決結果
報告 第 5 号	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を決定することについて) 【概要】町道の敷鉄板が跳ね上がり、車両を損傷したため、相手方と示談し損害賠償額を約 12 万 3222 円に決定したもの。		報告済 (9月2日)
報告 第 6 号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について 【概要】実質赤字比率、連結実質赤字比率ともになし。実質公債費率は 11.5%で前年度比 0.2%の増、将来負担率は 57%で前年度比 3.3%の減。三戸中央病院特別会計の資金不足比率は 6%で前年度比 2.8%の減。		報告済 (9月2日)
意見書案 第 2 号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書案 【概要】新たなウイルス感染や自然災害などの事態の際、経済活動への影響を最小限に抑えるため、医療、介護、福祉、公衆衛生施策の拡充を求める意見書を関係省庁へ提出するもの。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
意見書案 第 3 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案 【概要】新型コロナ対策、地方創生、雇用対策、防災・減災、デジタル化、脱炭素社会の実現や社会保障等への対応に迫られている地方自治体の地方税財源の充実を要望する意見書を関係省庁へ提出するもの。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
報告 第 7 号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて(三戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 【概要】納税負担感の軽減のため、税額の期別税額を変更し、第 1 期から第 8 期までの期別税額を百円単位として平準化する改正を行ったもの。	9月7日	原案承認 (賛成14・反対0)
議案 第42号	三戸町個人情報保護条例の一部を改正する条例案 【概要】デジタル庁の創設で町が個人番号等の情報提供記録を訂正した場合の通知先を「総務大臣」から「内閣総理大臣」に改めるもののほか、規定の整理を行うもの。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第43号	三戸地区環境整備事務組合の共同処理する事務の変更及び三戸地区環境整備事務組合規約の変更について 【概要】ペットの火葬事務を組合で処理することに伴い、組合の事務及び規約の変更を行うもの。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第44号	三戸町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】任期満了を迎える小山田孝兆委員を、再任するもの。	9月7日	原案同意 (賛成14・反対0)
議案 第45号	三戸町固定資産評価審査委員会の委員の任命につき同意を求めることについて 【概要】任期満了を迎える熊林正美委員を再任するもの。	9月7日	原案同意 (賛成14・反対0)
議案 第46号	三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 【概要】任期満了を迎える藤沢圭委員を引き続き推薦するもの。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第47号	令和3年度三戸町一般会計補正予算(第3号) 【概要】歳入歳出ともに 5335 万 6000 円の増。歳入は繰越金 6075 万円の増など。歳出はふるさと三戸応援積立金等総務費 2276 万 3000 円、屯所改修工事請負費 1000 万円など。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第48号	令和3年度三戸町営簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 【概要】歳入歳出ともに 23 万円 5000 円の増。歳入は一般会計繰入金 91 万円の減と前年度繰越金 114 万 5000 円の増。歳出は総務管理費 101 万 9000 円の減と簡易水道管理費 125 万 4000 円の増。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第49号	令和3年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号) 【概要】歳入歳出ともに 390 万 8000 円の増。一般会計繰入金 224 万円、前年度繰越金 354 万 2000 円など。歳出は事務費 390 万 8000 円の増。	9月7日	原案可決 (賛成14・反対0)
議案 第50～57号	令和2年度三戸町議会各会計歳入歳出決算認定について(※P2～P3参照)	9月9日	原案認定 (賛成14・反対0)

案議 議審

三戸産ホップ復活のため 地域おこし協力隊を任用

主な議案と質疑

■議案第47号

令和3年度三戸町一般会計補正予算（第3号）

城山公園ライトアップ の事業目的について

Q 柳 圭太 議員

秋の城山公園ライトアップ
事業補助金の目的は何か。

A まちづくり推進課長

中止となった秋まつりの代替事業で、城山公園のライトアップにより町内外の人に紅葉の城山公園を散策していただき城山の新たな魅力の発見と誘客促進を目的に観光協会に補助を行い実施するもの。

令和3・4年合同成人 式記念講演について

Q 柳 圭太 議員

成人式での著名人による記念講演の趣旨・目的は何か。

A 松尾町長

新成人に対し、町としてのメッセージや地域を思いやる心、ふるさとで頑張ろう、日本を盛り上げなければならぬといった志を感じてもらいたいと思っている。またコロナ禍という時代の節目、変化の時を迎え、新成人に何か考えてもらい、思い出に、また記念に残るようなきっかけになってもらいたいと思い企画したもの。

消防団第14分団屯所 新築について

Q 澤田 道憲 議員

新築に当たって、どうしたら団員が効率的に活動できるかなど、地区の関係者等と話し合いを行ったか。

A 総務課長

構造上の問題で、改修ではなく新築になった時点で、団長、分団長等と打ち合わせを行っている。その後も簡単な図面等を分団に提示して、使いやすい屯所となるよう打ち合わせを行っている。



昭和43年に建設され、老朽化が著しい第14分団屯所

地域おこし協力隊の 任用について

Q 千葉 有子 議員

地域おこし協力隊の報酬が計上されているが、今回の協力隊の業務内容は何か。

A まちづくり推進課

ホップの生産復活ミッシンに応募があった方を任用するもので、基本的にはホップ生産に従事することになるが、町を知るためにも、支障がない程度に他の業務にも携わっていただくことで本人から承諾を得ている。

■議案第46号

三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

任期を迎える藤沢圭委員を引き続き委員として推薦するもの。全議員の賛成で可決。



再び推薦される
藤沢圭 委員

第498回 三戸町議会臨時会

10月13日、第498回三戸町議会臨時会が開催されました。案件は国の交付金による新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算で、町内保育園・児童館等への二酸化炭素濃度測定器の設置、事業者持続化支援金、町内事業者向けの感染防止環境整備補助金、学校施設への感染症対策備品の設置などに要する経費など約1千万円が追加されました。

議案番号	件 名	議決の結果
議案第58号	令和3年度三戸町一般会計補正予算（第4号）	原案可決（賛成14、反対0）

議員活動レポート



Facebook
でも発信中!!

総務文教常任委員会

山田 将之・千葉 有子
小笠原君男・越後 貞男
佐々木和志

【調査事項】

町有財産の管理状況について

7月29日、町が所有する建物等の財産のうち、4か所について現地を訪問し、その管理状況を調査しました。



【主な調査結果・意見等】

①金洗沢公園

森林公園としての適切な管理と利用

用者増加に向けた取り組みを推進してほしい。

②旧三病院長住宅

子育て支援や移住促進の視点を加えた売却方法を検討してほしい。

③沖中児童公園

公園入口のチェーンは立ち入り禁止を連想させるので、対策を検討してほしい。また、砂場の衛生管理にも十分配慮した公園管理を。

④旧三戸北小学校

倉庫として利用する場合は、必要な物品が整然と保管されるよう適切に管理してほしい。

民生商工常任委員会

藤原 文雄・栗谷川 柳子
柳 零 圭太・乗上 健夫
竹原 義人

【調査事項】

町内公園の管理運営状況について

8月2日、町内に所在する各種公園のうち、9か所について、現地を訪問し、その管理状況を調査しました。

【主な調査結果・意見等】

①松原公園

・夜間の利用もあるため、監視カメラの設置など、防犯対策を検討してもよいのでは。

・遊具は適切に管理されている。使われていない水場（小プール）を夏季だけでも利用できないか。

②沖中児童公園

利用禁止に見えるので、入口のチェーンをポール等にできないか。

③関根ふれあい公園

監視カメラもあり、遊具も比較的新しいが、テーブルの表面の素材が剥がれているので対応を。

④貝守農村公園

危険な遊具はテープを張って使用



できないようにしている。早めに撤去を。

⑤斗内農村公園

休憩所の床にスプレーによるいたずら書きがあるので対応を。

⑥金洗沢公園

・立派な施設なので知名度の向上とイベント利用の促進をしてほしい。

・森林公園なりの全体的な樹木の手入れが必要になってきている時期ではないか。

⑦ラジコン公園

・入口にチェーンを張っているため、利用可能な曜日等の案内看板等設置してほしい。

・そろそろ他の用途での使用の検討に入ってもよいのではないか。

⑧ちびっこ広場

特になし

⑨藤子ふれあい公園

トイレがあり、休憩で利用する人もよく見られるため、町の総合的な観光案内版を設置すれば、他の観光地への集客につながるのではないか。

建設農林常任委員会

久慈 聡・番屋 博光
和田 誠・澤田 道憲

【調査事項】

農作物の生育状況及び町道等の管理状況について

6月29日、サクランボ、リンゴ、ニンニク等の生育状況および、町道の補修状況について、現地を訪問し、調査しました。

【主な調査結果・意見等】

①サクランボは、冬から春にかけての霜の被害により、収穫量が平年より下回っており、リンゴは果実肥大は平年を上回っているものの、品質への影響が懸念される。霜の害を回避するため、気象状況に対応した注意喚起を行うほか、防霜



【調査事項】

城山公園の利活用について

9月21日、全議員で構成する三戸町活性化対策特別委員会が、三戸城跡である城山公園の利活用について、現地を訪問し、調査を行いました。

三戸町活性化対策 特別委員会役員会

全議員



ファン設置への助成の見直しを検討するなど、被害防止対策を推進してほしい。

②ニンニクは順調に生育している。
③町道は補修計画に基づき対応されていた。未完了箇所についても速やかに対応し、町民の安心安全に努めてほしい。また、補修の進捗状況については、随時委員会へ報告してほしい。

役場駐車場に集合した委員は、甲冑姿の町教育委員会職員の案内で、三戸城の表門から裏門まで、実際に城を攻める側の立場となつて踏査しました。

現地を歩くことにより、三戸城の際立った防御性の高さや、現在も残る石垣や門礎石などの遺構等が、いかに歴史的価値の高いものであるか理解を深めました。

現地調査後の話し合いでは、三戸城跡について「歴史的財産である」「城山全体が城であるという概念を認識した」「他の城にはない魅力がある」などの評価の一方で「裏門（鍛冶屋門）の存在を知らなかった」「歩けば歴史を感じられるが、車で行ってしまう」とただの公園になってしまうなどの課題も浮かび上がりました。

その後、9月28日に委員会を招集し、課題と対策について協議し、城山公園の利活用に関する議会の要望書が作成され、10月13日栗谷川委員長から町長へ手渡されました。



請願陳情

審査結果

陳情第3号

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情。

【陳情の要旨】

①辺野古新基地建設工事を中止し、普天間基地を運用停止にすること。②普天間基地の代替施設が国内に必要かどうか国民的議論を行い、最終的に国会で解決すること。③代替施設が必要という結論ならば、全国の自治体を等しく候補地とし、公正かつ民主的な手続きにより決定すること。以上の3点を要望する意見書を国へ提出してほしい。

【総務文教常任委員会の意見】

陳情内容は国の防衛問題に関することであり、町議会が所管する事件ではないと判断される。

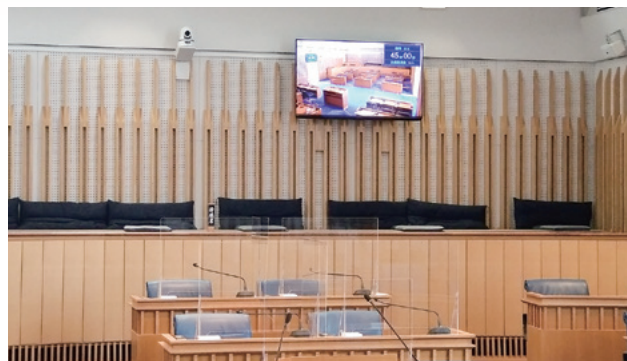
【審査結果】 不採択

傍聴しやすい音響設備になりました!

役場庁舎建設時から25年にわたり使用され、老朽化が進んでいた議場の音響設備が更新されました。デジタル化により音声クリアで聞き取りやすくなったほか、議場内の大型モニターに発言者が映し出され、一般質問の残り時間も見やすくなりました。また、住民福祉課、保健センター、議員控室前ロビーに大型モニターが設置され、コロナ禍で傍聴席の制限を行っているなか、議場に入らなくても傍聴できるようになっています。ぜひお気軽に傍聴にお越し下さい。



マイクの音声はデジタル化で聞き取りやすくなりました。



議場内のモニターには発言者が写ります。



役場1階と2階の3か所の大型モニターでも傍聴できます。



一般質問の議員の持ち時間が大型モニターで確認できます。

第499回 三戸町議会定例会(12月議会)の予定

11月29日(月)	午前10時	開会、町長による議案の提案理由の説明
11月30日(火)	午前10時	議案熟考のため休会
12月 1日(水)	午前10時	一般質問
12月 2日(木)	午前10時	一般質問(予備日)、議案審議・採決、閉会

※新型コロナウイルス感染症予防のため、傍聴者数の制限を行っています。ご了承ください。

編集後記



今号では特集として、夏に行ったアンケート調査結果を2、3ページに掲載しました。皆さまからいただいた「声」をしっかりと受けとめ、今後の議会活動に活かして参りたいと思います。

9月定例会は、音響設備等が新しくなった議場で開催されました。

音声聞き取りにくいなどの問題が解消され、また役場内3か所に設けた大型モニターでも傍聴いただけるようになりました。町が何を考えるのか、議会はどうに対応しているのか、ぜひ傍聴し、皆さまの声を聞かせていただきたいと思います。

議会だよりが、定例会の情報だけでなく、議員のさまざまな活動を町民の皆さまに届ける発信源として、より愛される存在に育つよう、私も広報編集委員会一同、これからも励んでまいりますので、よろしくお願いたします。(山田将之)

三戸町議会広報編集委員会
委員長 山田 将之
副委員長 久慈 聡
委員 栗谷川 柳子
藤原 文雄
佐々木 和志
竹原 義人